

02 ユーザIDとパスワード

本学のパソコンやネットワークを利用するには、本学のユーザIDとパスワードが必要です。ユーザIDは入学時に交付する「ユーザID通知書」に記載されています。

学内のパソコンを利用するために

ユーザ認証

入力したユーザIDでユーザを識別して、パスワードが本学のシステムに登録されているものと一致した場合に限って正当な利用者(ユーザ)と認証します。

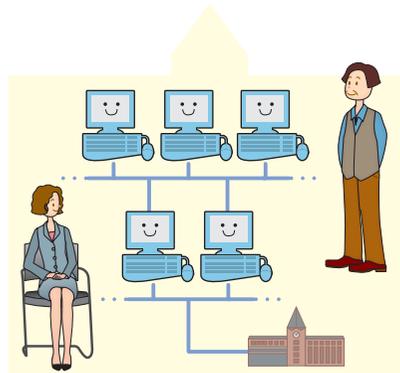
ユーザIDとパスワードを用いる理由

本学ではさまざまな学部・研究科の学生や教職員等多くの方が情報環境を利用しています。そこでユーザIDとパスワードを用いることで、ユーザ単位でのサービス提供を可能にするとともに、各ユーザが安全かつ公平に情報環境を利用できるようになっています。また、大学には学外のさまざまな方が出入りします。そこでユーザIDとパスワードによって認証することで、認められた利用者だけが本学の情報環境を利用できるシステムになっています。

学内のパソコン

学内のパソコンはたくさんの学生や教職員が利用します。

- 1 正当な利用者が
- 2 いつも同じ環境で
- 3 快適に利用できるよう整備する必要があります。



ユーザIDについて

ユーザIDの有効期限

ユーザIDは、一度取得すると卒業(修了)まで有効です。学籍番号が同一である限り、更新の手続きは必要ありません。

交付

本学では学生に対し、ユーザIDとメールアドレスを交付しています。

学内ネットワーク利用資格試験

新入生全員に学内ネットワーク利用資格試験が義務付けられています。受験しなかった場合、ユーザID、メールアドレスが利用できなくなります。

学内ネットワーク利用資格試験を受験しないとユーザID、メールアドレスが停止されます



有効期限

在学中のみ有効です。転学部、転学科、大学院に進学された場合などは、使用されているユーザIDおよびメールアドレスは無効となり、新たなユーザIDとメールアドレスが交付されます。

どこで使える?

学内の情報処理教室・自習室のパソコンを使用するために必要です。また、自宅のパソコンがインターネットに接続できるのであれば、メールの送受信ができます。

ユーザID、メールアドレスが停止されると...

学内のパソコンやインターネットが利用できなくなります。そのためパソコンを使う授業を受けることができません。また、本学が提供する電子メールなどのシステムも利用できなくなります。

パスワードについて

パスワードはユーザIDの利用者が本人かどうかを確認するためのもので、コンピュータやネットワークを利用する上で非常に重要です。パスワードの管理をおろそかにすると、あなた自身のプライバシーが侵害されるだけでなく、あなたのユーザIDとパスワードが不正利用され、学内外に大きな被害を与えることにもつながります。銀行のキャッシュカードの暗証番号と同じように、くれぐれも他人に知られないように、各個人で厳重に管理することを心がけてください。

パスワードがわからなくなったら...

パスワードは非常に重要なものですから、各自しっかりと記憶しておく必要があります。万が一、パスワードがわからなくなった場合は**学生証を持って**ヘルプデスクに申し出てください。学生証がない場合はパスワードに関するサポートはできません。(学生証以外の身分証明書では対応しません。)



Alert

授業には、ユーザIDとパスワードが必要です!

情報処理教室で行われる授業は、パソコンを使うためのユーザIDとパスワードが必要です。初回授業時にユーザIDとパスワードがわからず授業が受けられないということがないようにしましょう。

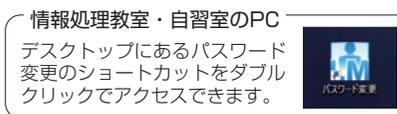
必ず「学内ネットワーク利用資格試験」を受験してください。

「学内ネットワーク利用資格試験」では、ネットワークの利用に当たって各人に求められるモラルの問題とともに、安心して利用するためにぜひ知っておいてほしい知識と問題への対処法を学びます。**受験しなかった場合、ユーザID、メールアドレスが停止されます。**

パスワードの変更方法

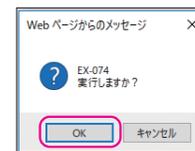
1 パスワード変更システムにログインします。

<https://acsweb.dwc.doshisha.ac.jp/>にアクセスし、ログインします。



3 実行するか確認します。

問題なければ[OK]ボタンをクリックします。



2 新しいパスワードを入力します。

左のメニュー [パスワード変更]をクリックし、新しいパスワードを確認のため2回入力し [保存]ボタンをクリックします。



4 パスワード変更完了のメッセージを確認します。

変更したパスワードは即時反映されます。



パスワード変更

パスワード変更システムは学内ネットワークからのみアクセス可能です。

パスワード設定時の注意

パスワードは大文字と小文字を区別して認識します。また、文字数は8文字以上16文字以下に制限されています。英大文字、英小文字、数字、記号のすべてを1文字以上使用する必要があります。

パスワードの管理

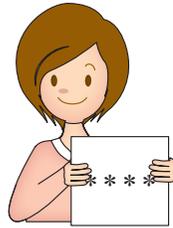
初期パスワードは必ず変更

ユーザID通知書のパスワードは、容易に推測できないようにランダムな英数字で構成されている初期パスワードです。

初期パスワードをセキュリティの観点から考えると、少なくともそれを用意した担当者は知っている可能性があります。また、初期パスワードは暗記しにくいので、ユーザID通知書を持ち歩くということになりかねません。ユーザID通知書は、紛失する可能性があるため持ち歩かないようにしましょう。いつどこで悪意を持った第三者に渡るかもしれません。

交付後は、直ちにパスワードを、他人に推測されずかつ自分が覚えやすいものに変更してください。

1 ユーザID通知書が発行される



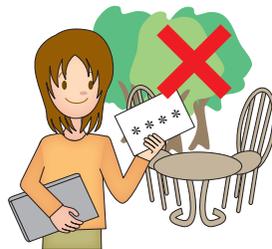
2 すぐに初期パスワードを変更する



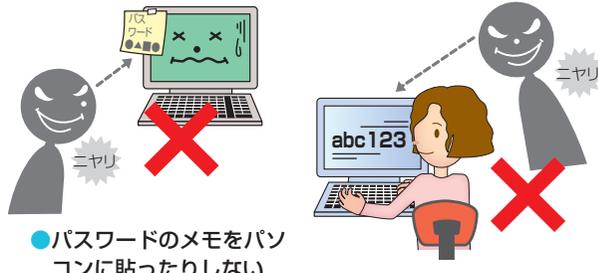
パスワードの変更についてはP013参照

パスワード管理の注意点

●ユーザID通知書を持ち歩かない
新しいパスワードに変更してユーザID通知書は破棄してください。



●他人に推測されやすいパスワードは設定しない



●パスワードのメモをパソコンに貼ったりしない

Alert

推測されやすいパスワードや、解析されやすいパスワードは危険です。不正アクセス防止のためにも、以下に例示されているようなパスワードは他人から容易に推測される危険性があります。**このようなパスワードは絶対に設定しないでください。**

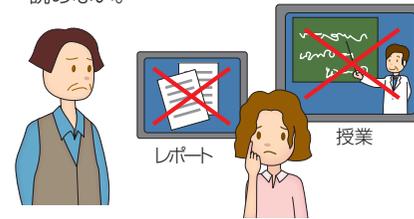
- | | |
|---|----------------------|
| × 単語、地名 例：password | × ユーザIDと同じ |
| × 連続した文字または繰り返した文字 例：123456、22222、ABCDEFG | × 自分の名前や友達の名前 |
| × キーボードを端から押した文字列 例：qwerty、asdfgh | × 自分の誕生日や電話番号 |
| | × 名前と誕生日の組み合わせ |
| | × 数字だけ、英小文字だけ、英大文字だけ |

ユーザIDとパスワードの管理が必要な理由

本学情報環境を利用するために必要なユーザIDとパスワードは非常に重要です。しっかり各自で管理しましょう。

ユーザIDとパスワードがわからないと…

- 情報処理教室などのパソコンにログインできず、授業を受けることができない。
- メールが利用できず、レポートの提出が滞ったり、本学からの大切なお知らせが読めない。



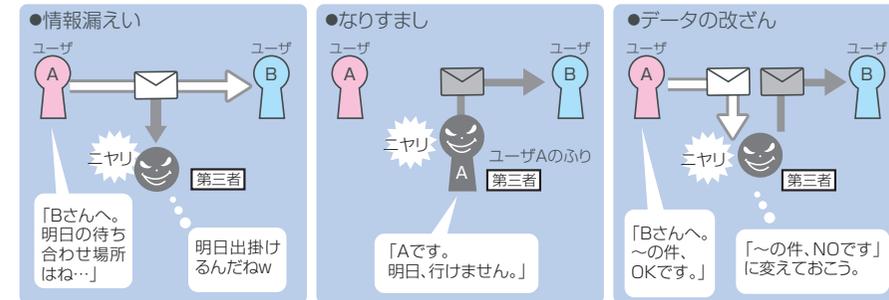
もし犯罪に巻き込まれたら…

- あなたのユーザIDを不当な人が使用することにより犯罪が行われた場合、あなた自身の責任を問われるといったことなどにもつながります。



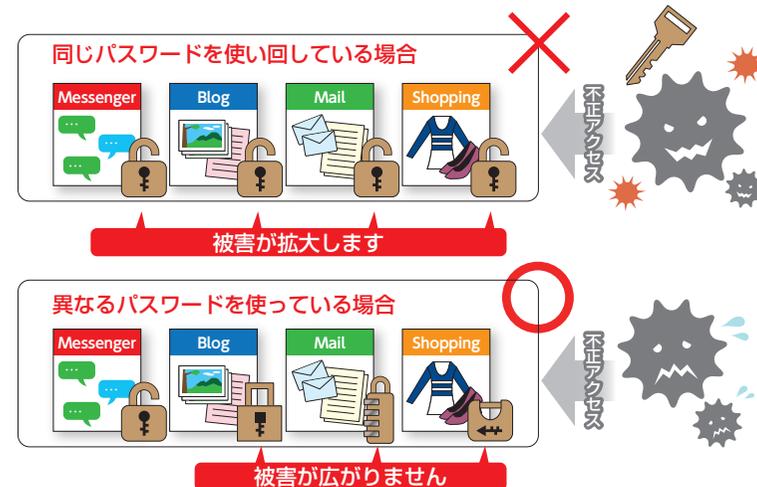
もしパスワードが他人に知られてしまったら…

- あなたになりすまして不誠実な書き込みや、メールの送信をされてしまう。
- 大切なファイルやデータを削除される。
- クレジットカードや金銭に関する情報を抜き出されて、口座にアクセスされたり、身に覚えのない料金を請求される。
- メールを覗き見られるなどプライバシーが侵害される。



パスワード読出の被害を最小限にするために

パスワードの使い回しは大変危険です。サービスごとに異なるパスワードを設定しましょう。



多要素認証(MFA: Multi-Factor Authentication)とは

ログインする際に、登録したスマートフォン等にリクエストが通知されて、それを承認することでログインが完了する仕組みです。これにより、パスワードによるセキュリティに、もう一つセキュリティが追加されます。また、不正にアクセスされた場合には、リクエスト通知は警告として認識できますので、被害を最小限に抑えることが可能となります。



多要素認証には、スマートフォンまたはタブレットが必要です。

多要素認証(MFA)の準備

多要素認証(MFA)デバイスを登録する

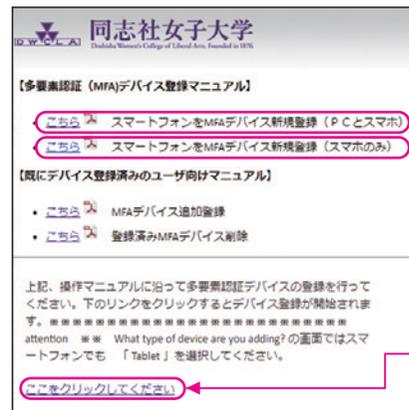
Webブラウザを起動し、下記サイトにアクセスします。

- 1 <https://otasuke.dwc.doshisha.ac.jp/> 本学の[ユーザID]と[パスワード]を入力し、[認証開始]をクリックします。



- 2 **どちらかの手順**で登録してください。

- スマートフォンをMFAデバイス新規登録 (PCとスマホ) ...PCとスマートフォンで設定します
- スマートフォンをMFAデバイス新規登録 (スマホのみ) ...スマートフォンのみで設定します

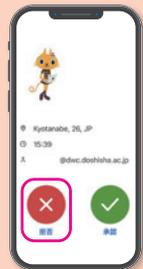


登録は
ここから

Alert

- **心当たりのないリクエスト通知は、不正にアクセスされている警告です。**

心当たりのないリクエスト通知は、不正にアクセスされている警告ですので「拒否(Deny)」をタップしてください。このような場合は、パスワードが流出していますので、至急ヘルプデスクまで連絡してください。



- **スマートフォンを機種変更された場合は、ヘルプデスクまで連絡してください。**

登録後に機種変更された場合は、既存の端末情報の削除と新たな端末の登録が必要になりますので、ヘルプデスクまで連絡してください。

- **デバイスを登録していない場合は、自宅等の学外から多要素認証対象システムを利用することができません。**

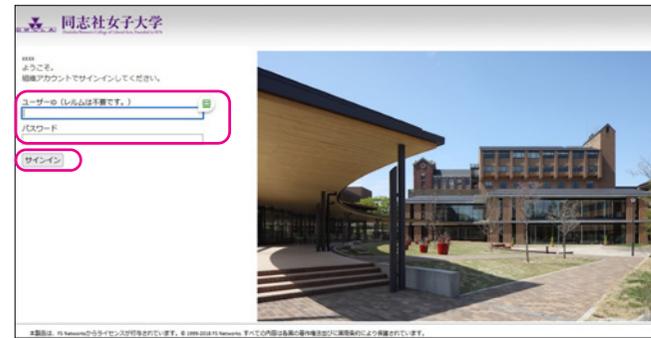
ただし、学内では多要素認証の手順はスキップされます。

—【多要素認証対象システム】—

- Microsoft 365 (Outlook, OneDrive)
- Microsoft Teams
- スーパー英語
- 人事給与システム
- VPN接続
- Adobe Creative Cloud

多要素認証(MFA)の流れ

● サインイン

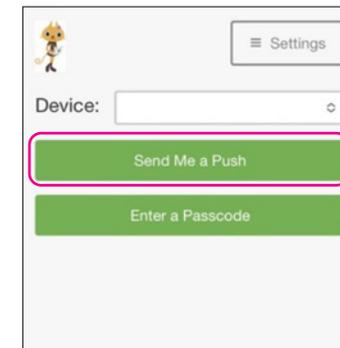


- **未登録の場合 P16**
デバイスの登録を行ってください。

Access is not allowed because you are not enrolled in Duo. Please contact your organization's IT help desk.

● 学内からアクセスの場合

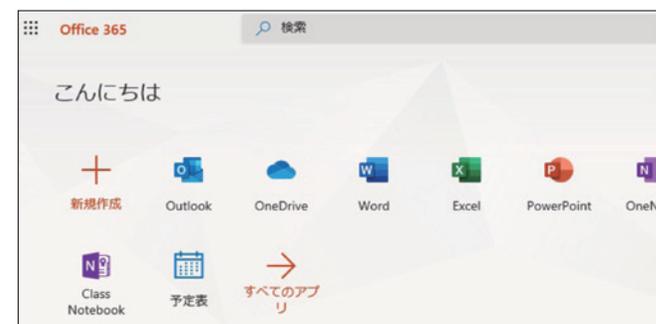
● 学外からアクセスの場合



登録したデバイスにリクエスト通知が送信されます。



「承認(Approve)」をタップすると、次画面に進みます。



※例: Office 365の画面